

活動助成（2010年募集）活動実績報告書

団体名	甲子園口地区まちづくり協議会
活動テーマ	17年前の阪神大震災の経験や、その後に地域で着実に展開されてきた防災の取り組みをわかりやすく・きめ細かく次代に伝え、地域ぐるみで防災活動の輪を広げよう！

 <p>救急講座</p>	 <p>防災点検隊＋防災マップづくり</p>
 <p>いつせい防災訓練・第1部（武庫川決壊を想定した避難訓練）</p>	 <p>いつせい防災訓練・第2部（上甲子園小学校での施設型防災訓練）</p>

17年前の阪神大震災で建物の約40%が全破壊という甚大な被害を受けた甲子園口地区は、震災前からコミュニティ活動が盛んであったことを生かし、震災直後の救援活動に始まり、月1回の防災訓練・学習活動の実施など、防災に強いをまちづくりにこれまで取り組んできた。一方、震災から17年がたち記憶の風化も目立ってきたことから、“震災の教訓を次代に引き継ぐ”ことを合言葉に、1年間をかけて一気に地域を挙げての防災強化に取り組むこととした。

主な取り組みは3項目。「月1回の防災訓練・防災学習会等の実施」では、昨年まで続けてきた防災講座、救急講座、施設見学等に加え、親子の参加に重点を置いた防災点検隊＋防災マップ作り、につながる防災ワークショップなど、計17回実施し、のべ約1,000人の参加を得た。「発災型防災訓練『甲子園口いつせい防災訓練』の実施」では、第1部として武庫川の決壊を想定した発災対応型避難訓練、第2部として上甲子園小学校における施設型訓練（水の流れ体験、煙体験、土のうづくり体験、救命救急講習（AED）、応急タンカ作り、非常食作り実演、東日本大震災写真展、消防によるレスキュー実演など）を行い、1部2部合わせて約2,000人（全住民の1/6）の参加を得た。「震災時の体験談及びその後の防災活動に関する記録誌、DVDの作成」では、DVDとして防災の取り組み時に行ったミニ講演会（阪神大震災の出来事を後世に伝えること、他）や、1年間の取り組みを撮りためた映像のダイジェストを盛り込み、記録誌としては1年間の取り組みの概要や資料などを1冊にまとめ、成果や課題を明らかにした。

、の活動を地域ぐるみで展開することで地域での防災意識・安全まちづくりへの高まりを形成、確認することができたとともに、によって今後の防災まちづくり推進の有力な手段を得ることができた。